

令和7年度事業報告

1 事業の重点

令和7年度は、第11次大分県交通安全計画（令和3年度～令和7年度）の最終年にあたり、同計画に沿って交通事故のない社会をめざし、人命尊重を基本理念として、県民一人ひとりに交通安全知識を普及と交通安全思想の高揚を図り、交通ルールへの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけることにより、令和7年度までに継続して年間交通事故死者数を34人以下、交通事故重傷者数220人以下を達成するための交通安全活動を推進した。

令和7年度は、活動の重点を基に、現在の社会情勢や活動の継続性を勘案し

- ① 子供の交通事故防止
- ② 高齢者の交通事故防止
- ③ 交通安全のすそをを広げる県民運動の推進

の3点を重点活動に掲げ、交通事故のない、安全で安心して暮らせる「優しいマナーと思いやりの運転県おおいた」の実現を目指し事業を推進した。

2 重点活動に対する施策

(1) 子供の交通事故防止

ア 幼児に対する交通安全教育

幼稚園・保育園に交通指導員を派遣し、腹話術の他、体験・参加型の交通安全教室（自転車教室を含む）を427回、18,457人（前年比－65回、－4,233人）に対して実施した。

イ 児童等に対する交通安全教育

新入学児童を対象とした登下校時の交通安全指導、及び小・中・高校や地区公民館に交通指導員を派遣し、体験・参加型の交通安全教室（自転車教室を含む）を延べ382回（うち県委託29回）、20,843人（うち県委託3,763人、前年比－81回、－4,902人）に対して実施した。

※（小学生340回、16,522人、中学生29回、3,292人（うち県委託12回、2,578人）、高校生13回、1,029人（うち県委託2回、825人））

ウ 自転車シミュレータを活用した交通安全教育

学校や地域の行事等に交通指導員を派遣し、自転車シミュレータを活用した体験型の交通安全教室を52回、5,732人（うち県委託42回、4,084人）に対して実施した。

エ 交通安全こども自転車大分県大会の開催及び全国大会への出場

- 6月21日（土）大分東部公民館において、大分県大会を開催し3チーム（2校＋3校合同チーム）が参加した。（優勝チーム：豊後大野市立百枝小学校）
- 7月17日（金）百枝地区教育振興会が主催する全国大会壮行会が百枝小学校で開催され、出場選手4名が練習の成果を披露した。
- 8月6日（水）、東京ビックサイトにおいて開催された「第57回全国大会」に県大会で優勝した百枝小学校が出場した。
（出場校42チーム中22位）

オ 幼児・児童向けの広報紙等の作成・発行

各支部において作成した、幼児・児童向けの広報紙を毎月、又は随時発行した（発行部数6,656部）。

カ 交通安全啓発グッズの配布

新入学児童に対し交通安全グッズ（交通安全さるーる自由帳、さるーるクリアファイル）8,576セット及び各支部独自で選定した物品を配布した。

キ 交通安全レター作戦

日田市内の小学校4～6年生、1,455名に日田支部からハガキを配布し、家族や近親者など身近な人に、交通安全を願う気持ちを書いたハガキを送り、交通安全意識の高揚を図る「交通安全レター作戦」を実施した。（7月中夏休み前に投函）

※ 子供の交通事故発生状況（R7年1月～R7年12月）

	件数	死者数	負傷者数	（内）重傷者
令和7年	162	0	187	17
令和6年	132	0	169	14
増減	+30	±0	+18	+3

(2) 高齢者の交通事故防止

ア 高齢者交通安全教室の実施

各支部において、高齢者を対象とした体験・参加型の交通安全教室（自転車教室を含む）を27回、484人（うち県委託15回、360人を対象に実施した。

イ 歩行シミュレータを活用した交通安全教育

運転免許センターにおいて、認知機能検査及び高齢者講習を受講した高齢者等を対象に、歩行シミュレータによる体験型交通安全教育を19回、12,246人に対して実施した。（5月～本年3月）

ウ ドライバーズセミナー（一般コース大分）の開催（後援）

11月30日(日)、大分県自動車学校において、JAF大分支部と連携して高齢者を含めたドライバー対象の体験型講習会を開催し、当協会関係者4名が受講した。

エ 交通安全グラウンドゴルフ大会・ゲートボール大会の開催

交通安全意識の高揚を図るため、各支部において交通安全グラウンドゴルフ大会やゲートボール大会を開催又は協賛した。

○ グラウンドゴルフ大会

- ・大分中央支部 大分東分会（9／27：44人）
- ・別府支部 北地域分会（7／6：100人）、石垣分会（3／10：61人）
- ・中津支部 中津支部耶馬溪連合分会（10／27：36人）
- ・豊後大野支部 新田分会（9／13：70人）、豊後大野支部（11／27：102人）

○ ゲートボール大会

- ・中津支部耶馬溪連合分会（10／2：35人）
- ・臼杵支部（7／6：50人）

※ 高齢者の交通事故発生状況（R 7 年 1 月～R 7 年 1 2 月）

	件 数	死 者 数	負傷者数	（内）重傷者
令和 7 年	8 4 7	2 3	4 2 2	9 3
令和 6 年	8 5 3	1 9	4 3 5	9 2
増 減	－ 6	＋ 4	－ 1 3	＋ 1

(3) 交通安全のすそを広げる県民運動の推進

令和 7 年度大分県交通安全県民運動実施要綱に掲げる運動の推進事項である「死亡・重傷事故等重大事故の抑止」、「高齢者とこどもの交通事故防止」、「飲酒運転の根絶～飲酒運転を許さない気運の醸成～」等を広く県民に呼びかけるための活動を実施した。

ア 街頭広報

県民の交通安全意識の高揚を図るため、県民交通安全日や春・夏・秋・冬の交通安全運動中に主要交差点等街頭において広報啓発活動を実施。

各支部は、県民交通安全日、春・夏・秋・冬の交通安全運動期間中及び交通非常事態宣言発令期間中、主要交差点等の要所に横断幕やのぼり旗を設置して交通事故防止の広報啓発活動を行った。

また、各地域における街頭啓発活動「やまびこ運動」をはじめ、大分中央支部の「管内企業に対する交通安全啓発活動」、大分東支部の「トラック協会と共同での街頭啓発活動」、大分南支部による「庄内事故無（梨）梨配り」、別府支部の「警察官と共同での二輪車点検」、杵築日出支部による「ハローキティ街頭キャンペーン」、「さわやか休憩所」、「Let' s 照 TIME」、国東支部の「中学での反射材贈呈と街頭活動」、豊後高田支部による「心を癒やすサンセット・命を守る 3 セット」、「暑い毎日、イライラフリーザー」、「ちゃんと渡そう・ちゃんと渡ろうキャンペーン」、「事故にあう米」、宇佐支部の「キラットカラット交通安全大作戦」、「横断歩道は歩行者に（柚子）りましょうキャンペーン」「今日も安全運転で無事カイロ作戦」、中津支部の「道の駅のお客に模擬信号を使用した交通安全教室と啓発品配布」玖珠支部の「R 2 1 0 作戦」、「交通安全茶屋」、日田支部の「繁華街での飲酒運転根絶啓発活動」、竹田支部の「コーン 2 安全運動」、豊後大野支部の「シニアクラブ女性部交通安全グッズ配布」、佐伯支部の「交通安全茶配布」、津久見支部の「ヤング街頭活動」、臼杵支部の「自動車整備振興会と共同による街頭車検」など

街頭活動に工夫を凝らしてドライバー等に交通安全を呼びかけた。

イ 広報車による広報

県民交通安全日、春・夏・秋・冬の交通安全運動中、交通非常事態宣言発令中など、各支部広報車による広報啓発活動を適宜実施した。

ウ マスメディア、ホームページ等を活用した広報

(ア) 県協会

新聞、ラジオ、テレビ、ホームページ等を活用し、適宜、時節に応じた広報を実施した。

○ 新聞広報

春・夏・冬の交通安全運動の啓発広告、大分合同新聞「交通標識クイズ」「飲酒運転根絶」を企画した広告に協賛し、交通事故防止啓発広報を実施した。

○ ラジオ広報

4月から本年3月まで、毎週金曜日にFM大分「喫茶店T o m o C a f e」（11:30～11:55）とスポンサー契約し、「大分県交通安全協会の活動篇・6秒の深呼吸篇・彼はスマート篇」の3タイプをCMし、併せて付帯サービスで交通安全協会職員が出演する「交通安全トーク」により、交通事故防止を呼びかける広報を実施した。（4月～本年3月の間、FMラジオ4回職員出演）

○ テレビ広報

3月、自転車の反則通告制度（青切符）の導入を前に、自転車の歩道通行方法のCM広報を民放3局で実施した。

○ ホームページ等

四季の交通安全運動及び交通事故発生状況、各種行事等のお知らせや各支部の活動状況をアピールした。

(イ) 各支部

地域の実情に応じた広報を実施するため、ケーブルテレビ（中津支部）、電光表示機（大分中央・玖珠支部）振興局防災無線・FMラジオ等（宇佐支部、佐伯支部）、地域新聞（大分南、杵築日出支部、宇佐支部、中津支部）、ホームページ（各支部）をそれぞれ活用。

エ その他県協会の広報活動

(ア) ラッピングバスによる広報

4月から1年間、大分交通バスの路線バス（大分－別府間）の後部に「横断歩道は歩行者優先」のラッピングを貼付して運行した。

- (イ) 県協会広報紙「交通安全おおいた」発行

1月に11,500部制作・発行し、運動の重点等を広報した。

- (ウ) 交通安全運動チラシ作成・配布

大分県交通安全推進協議会と共同で、春・夏・秋・冬の交通安全運動用チラシ各35,000枚を作成し、関係機関・団体等に配布して街頭活動等において活用した。

- (エ) 交通安全啓発ポケットティッシュ、反射材等配布

運転免許センターにおいて、認知機能検査を行った高齢者等を対象にした体験型交通安全教育（歩行シミュレータ）の受講者に対して、横断歩道でのマナーアップを呼びかける台紙を入れたポケットティッシュや反射材等を配布し、重ねて歩行中における交通事故防止の意識向上を図った。

オ 各支部の主なイベント活動

- (ア) 温泉祭りへの参加

別府支部は、4月6日（日）女性ドライバー協議会と温泉祭りに参加し、市民や観光客に交通安全を呼びかけた。

- (イ) 交通フェアへの参加

中津支部は、7月13日（日）、9月27日（土）、12月13日（土）商業施設において交通フェアに参加し、模擬信号機や横断マットを使用して交通安全教育指導、自転車シミュレータを展示し体験乗車等を行い、交通安全を呼びかけた。

- (ウ) 第46回おおいた交通安全フェアへの参加

大分中央、大分東、大分南の3支部は、9月20日（土）大分市府内町の祝祭の広場において、参加体験型の各種展示やイベント・アトラクション等を通じて、市民に対して交通安全の普及・啓発を呼びかけた。

- (エ) 交通サンタ

竹田支部は、12月17日（水）市内の保育園において、サンタクロースになった警察官等とともに園児に対して交通安全を呼びかけた。

- (オ) 交通安全餅つき大会及び餅配り

大分南支部は12月12日（金）餅つきをして手作りした三色餅を由布市庄内庁舎前、中津支部は12月12日（金）中津警察署において餅つき大会、玖珠支部は12月6日（土）餅つきをして新長野交差点、豊後大野支部は12月9日（火）餅つきをして各交差点において、そ

れぞれドライバー等に餅を配り、交通安全を呼びかけた。

(カ) 交通安全祈願祭

大分南支部は、4月4日（金）、4月10日（木）、宇佐支部は、9月18日（木）、中津支部は、4月8日（火）にそれぞれ神社で交通安全祈願祭を行った。

(キ) 交通安全大会

各支部は、交通安全を市民に浸透させ、交通安全意識の高揚と交通事故防止の徹底を図るため、交通安全大会を行った。

カ 交通安全DVD、ビデオの貸出

県協会は、県民や企業に対し、交通安全DVD・ビデオを無償で貸出した。（3箇所5本）

キ 後援・協賛事業

- J A 共済による交通安全ポスター募集事業の後援
- O B S 大分放送による「O B S ハッピーキッズキャンペーン」の後援
- 一般社団法人日本自動車連盟（J A F）による「ドライバーズセミナー・一般コース大分」の後援
- 大分県二輪車普及安全協会による「ベーシック・ライディング・レッスン」の後援
- 大分県二輪車安全運転指導員会による「二輪車安全運転講習会」の後援
- 大分県警察による「県警ふれあいコンサート」の協賛
- 大分県警察による「交通安全川柳コンテスト」の後援
- 大分県安全運転管理協議会「豊の国セーフティーチャレンジ2025」の協賛
- 大分市による「大分市交通安全フェア」の協賛
- 大分県交通安全推進協議会「大分県交通安全ポスターコンクール」の協賛
- 大分合同新聞社企画「春の全国交通安全運動」・「夏の事故ゼロ運動」・「冬の事故ゼロ運動」・「交通標識クイズ」・「飲酒運転根絶キャンペーン」・「おおいたキャラクター図鑑」の協賛

※ 飲酒による交通事故の発生状況（Ｒ７年１月～Ｒ７年１２月）

	件 数	死 者 数	負傷者数	(内) 重傷者
令和７年	２３	１	２８	５
令和６年	２２	１	２６	３
増 減	＋１	±０	＋２	＋２

※ 死亡事故シートベルトの着用状況（Ｒ７年１月～Ｒ７年１２月）

	全死者	四 輪 乗車中	シートベルト着用の有無					
			着 用		非着用		不 明	
			死者	構成率	死者	構成率	死者	構成率
令和７年	４１	１９	６	31.6%	８	42.1%	５	26.3%
令和６年	２８	１７	１０	58.8%	１	5.9%	６	35.3%
増 減	＋１３	＋２	－４		＋７		－１	

(4) その他の活動

ア 大分県交通安全県民大会における交通安全功労者等表彰

交通安全活動に従事するボランティアや無事故・無違反を続ける運転者に対し、優良運転者１０年・１５年・２０年・３０年・４０年・５０年表彰や交通安全功労者等表彰、九州管区交通安全協会会長表彰、緑十字銅章表彰を上申した。

９月５日（金）J:COM ホルトホールにおいて、表彰を行う予定であったが、直前に台風接近により中止となり、各支部において表彰及び表彰伝達を行った。

※ 交通安全功労者（団体）・優良運転者等

	交通安全功労者	功労団体 優良団体	優良運転者				優良職員等	優良学校 安管等
			20年	30年	40年	50年		
大分県連名表彰	13人	1団体	33人	54人	65人	32人		1校
九州管区表彰	4人	1団体	34人				3人	事業所1・安管0人
全国表彰（緑十字銅章）	8人		79人					安管1人

※ 交通安全国民運動中央大会

令和8年1月14日、東京都において交通安全国民運動中央大会が開催され、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席のもと表彰式が行われた。

○ 交通栄誉章緑十字金章2人、緑十字銀章6人、優良事業所1事業所、優良安全運転管理者協議会1協議会、優良交通安全協会が受賞した。

イ 自転車の安全利用の推進

(ア) 自転車利用者に対する安全教育

幼児、小・中・高校、高齢者及び一般者に交通指導員を派遣し、体験・参加型の自転車教室を実施した。

自転車教室は、延べ260回、16,105人を対象に実施。

（幼児0回0人、小・中・高校生230回、15,336人、高齢者15回、360人、一般15回、409人）

(イ) 自転車保険への加入促進（TSマークの普及等）

自転車シミュレータによる体験型講習の際に、TSマークを含めた保険加入を記載したファイルを受講者に配布するとともに、保険の加入を呼びかけた。

※ 自転車の交通事故発生状況（R 7 年 1 月～R 7 年 1 2 月）

	件 数	死 者 数	負傷者数	(内) 重傷者
令和 7 年	2 9 0	3	2 8 0	3 7
令和 6 年	2 9 4	1	2 9 1	4 0
増 減	－ 4	＋ 2	－ 1 1	－ 3

ウ 二輪車の交通事故防止

(ア) 二輪車安全運転講習会の開催

春・秋の行楽期におけるバイクツーリングによる交通事故及び日常の交通事故防止対策として、大分県警察との共催により、「大分県二輪車安全運転講習会」を開催した。

- 大分県運転免許センター <春期>：4月20日(日)実施、受講者28名（男20名、女8名）
- 大分県運転免許センター <秋期>：9月7日(日)実施、受講者25名（男23名、女2名）

(イ) 大分県二輪車安全運転指導員会が主催する二輪車安全運転講習会の開催（後援）

- 大分県運転免許センター 6月1日(日)実施、受講者15名（男12名、女3名）
- 大分県運転免許センター 10月19日(日)実施、受講者14名（男11名、女3名）

(ウ) 日本二輪車普及安全協会が主催するベーシック・ライディング・レッスンの開催（後援）

- 大分県運転免許センター 6月22日(日)実施、受講者11名（男10名、女1名）

※ 二輪車の交通事故発生状況（Ｒ７年１月～Ｒ７年１２月）

	件 数	死 者 数	負傷者数	（内）重傷者
令和７年	１７３	３	１４９	６９
令和６年	２１２	５	１８４	４４
増 減	－３９	－２	－３５	＋２５

エ 交通事故相談

交通安全活動推進センターとして、関係機関と緊密な連携を図りながら、示談や損害賠償等の交通事故に伴う相談・助言対応。

交通事故相談件数は０件。（昨年０件受理）

オ 道路危険箇所等の点検

道路危険箇所及び交通安全施設の点検、道路標識・カーブミラー等の清掃活動、立看板補修設置作業を実施した。

- 大分中央支部 明野東校区内（４／６～４／１５）
- 大分東支部 佐賀関地区（７／１０～７／１６）
- 大分南支部 賀来分会一円、挾間分会一円、吉野分会一円 （７／１２、１３）

以上のとおり、重点活動に対する各種施策を推進した結果、令和７年中の交通事故発生件数、負傷者については減少し、２１年連続で減少傾向が継続しているが、交通事故死者数は令和６年より１３人多い４１人に増加し、交通事故重傷者数も２３７人となり、第１１次大分県交通安全計画の「令和７年度までに継続して年間交通事故死者数を３４人以下、交通事故重傷者数２２０人以下」を抑止することができなかった。また、交通事故死者の６０％近くを高齢者が占めるなど、取り組むべき課題が残った。

※ 県下の交通事故発生状況（R 7 年 1 月～R 7 年 1 2 月）

	件 数	死 者 数	負傷者数	(内)重傷者数
令和 7 年	1, 9 9 3	4 1	2, 1 9 8	2 3 7
令和 6 年	2, 1 2 5	2 8	2, 6 1 9	2 1 2
増 減	- 1 3 2	+ 1 3	- 4 2 1	+ 2 5

3 期間を定めての活動

次の期間、集中的・効果的に交通安全活動を推進

運 動 名 等	実 施 期 間	日 数	県内一斉行動日
春の全国交通安全運動	4月6日(日)から15日(火)まで	10日間	4月10日(木)
自転車月間	5月1日(水)から31日(金)まで	31日間	
おおいた夏の事故ゼロ運動	7月10日(木)から16日(水)まで	7日間	7月10日(木)、16日(水)
秋の全国交通安全運動	9月21日(日)から30日(火)まで	10日間	9月30日(火)
飲酒運転根絶キャンペーン 飲酒運転根絶フェア	12月1日(月)から12月20日(土)まで (12月9日(火) 大分市竹町ドーム広場)	20日間	

おおいた冬の事故ゼロ運動	12月11日（木）から12月17日（水）まで	7日間	12月11日（木）、17日（水）
マナーアップの日	毎月 1日	毎月1日	
県民交通安全日、飲酒運転根絶県民運動の日	毎月20日	毎月1日	

4 行政機関から委託等を受けた事業

(1) 更新時講習（停止処分者、違反者講習を除く）

講習の目的に沿って、講習体制を整備し、適正かつ効果的な講習を実施した。

(2) 運転免許関係事務

令和7年3月からマイナ免許証に関する事務も加わり、更新通知・高齢者講習通知をはじめ県民への利便性に配慮した適正かつ確実な業務を推進した。

(3) 自動車保管場所証明・届出等の電算入力業務

適正かつ確実な業務を推進した。

(4) キャッシュレス決済受付事務

適正かつ誤りのない業務を推進した。

(5) 道路使用許可調査業務

大分中央警察署管内及び大分東警察署管内における、工事等による道路使用の許可条件の履行及び原状回復の状況等を調査し、交通の安全と円滑に寄与した。

※ 調査員による調査状況

- 大分中央警察署管内 2, 938件、指導警告事案無し
- 大分東警察署管内 1, 307件、指導警告事案無し

(6) 体験型交通安全教育業務（受託期間：令和7年5月1日から令和8年3月31日までの間）

令和7年度は、自転車シミュレータ、歩行シミュレータ、ドライビングシミュレータの各体験型の合計時間122,400分を目標として委託を受けており、自転車シミュレータが18,155分、歩行シミュレータが72,950分、ドライビングシミュレータが35,270分の合計126,375分（103%）であり、目標を達成した。

ア 子供に対する交通安全教育

県内、中学校及び高校、イベント等において自転車シミュレータを活用した体験型交通安全教育を推進した。

〔受講者4,114人（中学 12校、高校 2校、支援学校 1校、その他28）〕

イ 高齢者等に対する交通安全教育

運転免許センターにおいて、歩行シミュレータを活用した体験型交通安全教育を推進した。

〔受講者 12,246人（199日間）〕

ウ 一般運転者等に対する交通安全教育

県内、事業所やイベント等において、ドライビングシミュレータを活用した体験型交通安全教育を推進した。

〔受講者 1,879人（128箇所）〕

(7) 収入証紙の売り捌き（許認可）業務

県民の利便性に配慮した適正かつ確実な業務を推進した。

(8) 日本交通管理技術協会関係業務

ア 自転車安全整備店（非組合店）登録申請等に伴う現地調査・手続き等

整備店作業場としての基準の適合性調査及び各種登録（新規・更新・再登録）手続きを実施した。

（令和7年度：新規 1件・更新 8件・再登録 0件）

イ T Sマークの交付業務

令和7年度交付件数（緑色）680件、（赤色）4,550件、（青色）3,600件

ウ T Sマーク付帯保険の適用に伴う調査

T Sマーク貼付自転車の交通事故に係る自転車店への確認調査 （令和7年度：0件）

5 大分県自動車学校における事業

(1) 優良運転者の育成

車社会に多くの運転者を送り出している指定自動車教習所の社会的責任・役割を果たすため、安全運転の知識・技能について高い教習を実施して優良運転者を育成するとともに、初心運転者の事故率の低減を図った。

○ 令和7年度における教習生入校状況 (人)

	四 輪	二 輪	合 計
令和7年度	1, 0 5 2	2 0 3	1, 2 5 5
令和6年度	1, 0 3 7	2 0 8	1, 2 4 4
増 減	+ 1 5	- 5	+ 1 1

(2) 地域交通安全研修センターとしての積極的な活動

ア 高齢者講習

高齢運転者が増加する中、公益法人設立の指定自動車教習所として、講習体制を整備し、適正かつ効果的な講習を実施。

○ 高齢者法定講習 (人)

	実車あり	実車なし	運転技能検査	総 計
令和7年度	6, 5 6 2	3 0 4	1 4 8	7, 0 1 4
令和6年度	5, 9 6 3	2 8 8	1 3 2	6, 3 8 3
増 減	+ 5 9 9	+ 1 6	+ 1 6	+ 6 3 1

- ・ 運転シミュレータ、講習用ビデオ映画、新聞記事さらには身近な事故事例等、常に新しい教材により充実した講習を実施中。
- ・ 実車講習による的確な是正指導と講習時の事故防止を図る。

イ 取消処分者講習、初心運転者講習

公安委員会からの指定を受けた講習について、適正かつ効果的な講習を実施。

○ 令和7年度における取消処分者講習 (人)

	一 般	飲 酒	合 計
令和7年度	5	9	14
令和6年度	5	9	14
増 減	±0	±0	±0

○ 令和7年度における初心運転者講習 (人)

	普 通	準中型	自動二輪	原 付	合 計
令和7年度	10	0	4	0	14
令和6年度	9	0	7	0	16
増 減	+1	±0	-3	±0	-2

ウ 企業安全運転講習、ペーパードライバー教習等

職業ドライバーに対する企業安全運転講習からペーパードライバーまで幅広く、目的に沿った効果的な講習実施。

○ 令和7年度における免許取得者教育講習

(人)

	1号課程	2号課程	4号課程	5号課程	7号課程	8号課程	合 計
令和7年度	54	0	0	0	0	842	896
令和6年度	37	0	0	0	0	583	620
増 減	+17	±0	±0	±0	±0	+259	+276

・ 1号課程～ペーパードライバー講習 ・ 2号課程～二輪車安全運転体験講習 ・ 4号課程～高齢者安全運転体験講習

・ 5号課程～高速・悪条件下等安全運転体験講習 ・ 7号課程～二人乗り走行体験講習 ・ 8号課程～企業・職域等安全運転講習

エ 障害者に対する教習

障害者に対する講習体制を整備し、適正かつ効果的な講習を実施。

6 会議

(1) 全国会議

3月17日(火)に都道府県交通安全協会専務理事等会議が東京都で開催され、専務理事が出席した。

(2) 当協会が主催する会議

ア 理事会

○ 6月11日(水)に第44回理事会をトキハ会館5階「カトレアの間」において開催し、会長以下16名が出席した。

○ 12月18日(木)に第45回理事会をトキハ会館5階「カトレアの間」において開催し、会長以下17名が出席した。

○ 3月5日(木)に第46回理事会をトキハ会館5階「カトレアの間」において開催し、会長以下17名が出席した。

イ 評議員会

6月26日(木)に第22回評議員会をトキハ会館5階「ローズの間」において開催し、評議員10名(新任を含む)が出席される中、会長以

下16名で議事が行われた。

ウ 理事・評議員合同会議

6月26日(木)に理事・評議員合同会議をトキハ会館5階「ローズの間」において開催し、県生活環境部審議官（県知事代理）、県警本部長、県警交通部長を来賓として迎え、会長以下31名が出席して、退任役員表彰並びに新たに選任された評議員・理事の紹介を行った。

エ 支部事務局長会議

11月13日（木）に支部事務局長会議を大分市東部公民館会議室において開催し、専務理事以下19名が出席し、予算関係、職員の休暇の見直し、今後のこども自転車大会の開催等について審議した。

(3) 九州会議

ア 九州交通安全協会定例総会

4月17日（木）に福岡県で開催され、専務理事が出席した。

イ 九州各県交通安全協会専務理事・事務局長会議

10月2日（木）に長崎県で開催され、専務理事が出席した。

(4) 県会議等

ア 大分県交通安全推進協議会委員会

6月3日（火）県庁正庁ホールにおいて、大分県交通安全推進協議会委員会が開催され、当委員会副会長である杉原会長が出席した。
また、委員である大分県女性ドライバー協議会吉松会長も出席した。

イ その他

- 大分県指定自動車教習所協会定期総会（5／12～専務理事・学校長出席）
- 交通安全教育推進連絡会議「第1回中央会議」（5／16～企画指導室2名出席）
- 安全運転管理者社員総会（5／22～専務理事出席）
- 大分市自転車活用推進協議会（6／5、8／6、11／5～専務理事出席）
- 県境ブロック会議（11／14～専務理事・竹田支部長及び事務局長・豊後大野支部長及び事務局長）
- 日本交通管理技術協会ブロック会議（11／19～企画指導室2名出席）

- 交通安全教育推進連絡会議「第2回中央会議」（1／30～企画指導室2名出席）

7 研修

(1) 当協会が主催する研修

職員や関係者に必要な知識や技能を習得させる機会を設けることにより、職員等個々の資質の向上を図るための各種研修会を実施した。

ア 新人職員研修会

令和7年4月15日（火）運転免許センターにおいて開催し、新人職員（令和6年5月1日以降に採用）15名が参加。

接遇マナー研修の他、協会業務全般について学習し、免許業務、運転免許センターの見学等を実施した。

イ 大分県女性ドライバー協議会研修会

夏の事故ゼロ運動期間中の7月15日（火）、大分駅上野の森口広場において街頭啓発活動を行った後、J:COM ホルトホール大分会議室において研修会を開催。研修会として、警察本部交通企画課担当者の講演及び各支部会長の活動状況紹介、各種体験型講習に使う自転車シミュレータ、クイックアーム、運動能力診断の研修を行った。

ウ 大分県二輪車安全運転指導員研修会

2月15日（日）運転免許センターにおいて、二輪車安全運転指導員の資格を有する9名に対して、特別指導員9名と白バイ隊員1名による安全運転知識及び運転技能を指導した。

(2) 研修会等への派遣

職員や関係者に必要な知識や技能を習得させることにより資質の向上を図るため、専門機関や関係機関が開催する研修会等に派遣した。

ア 地域交通安全活動推進委員全国研修会（6／20～大分南地区地域交通安全活動推進委員協議会会長・警察本部交通企画課係長出席）

イ 幼児・高齢者交通安全教育指導者講習会（11／19～11／21 津久見支部職員1名）

ウ 交通安全指導者養成講座（12／8～12／10 杵築日出支部職員1名・中津支部職員1名出席）

エ 安全運転センター中央研修所における研修

業務に必要な資格取得あるいは資質向上のため、県自動車学校職員を自動車安全運転センターが主催する研修会に派遣した。

○ 令和7年度における中央研修所受講状況

	回 数	受講人員	備 考
高齢者講習指導員課程（四輪車・二輪車）	2	2	2日間

オ その他

○ 令和7年度における県自動車学校指導員・検定員の講習受講状況

	回 数	受講人員
副管理者講習	1	4
技能検定員講習	3	21
教習指導員講習	1	1
合 計	5	26